

5 2 「千葉県を歩く3 勝浦へ」

■ 11月19日（火）

ここ数日いい天気が続いている。急に気温が下がり、このあたりもそろそろ紅葉のシーズンを迎えた。いつもは車で出かけるが今年は歩いて行こうと思う。養老溪谷に行けば見事な紅葉が見られるはずなので、その方向を目指して歩こう。

今日上総牛久まで行けば、次回には多分養老溪谷に着けるだろう。どうせなら、また太平洋側に突き抜きたいので、最終目的は外房の勝浦あたりにしようと思う。

9時半に家を出発。まず、光風台を目指して歩く。今日は晴れで太陽は時々雲に隠れる程度だが、風が強く昨日と比べて体感温度がずっと低い。

向かい風で、景色を楽しみながら歩く余裕はない。手も冷たい。

10時10分、市原緑園都市を通り過ぎる。この辺までは何回か歩いて来たことがある。

“現在消火活動により濁り水が発生し、ご迷惑をおかけしています。”と市水道局のパトロール車が、100メートルほどごとにスピーカーで放送している。どの範囲かわからないが、市原市は広いからとても大変だろう。

豊成から立野へ抜ける坂道に差しかかる。ここは自転車でも通ったが、自転車にとっては心臓破りの丘だ。この坂では絶対に途中で自転車を降りないことに決めていたのでかなり大変だった。

10時45分、立野交差点（丘の頂上）に到着。コンビニでパンと飲み物を買って早めに休憩する。

光風台の中心部を通り抜け県道144号に入る。途中で雨がパラ



歩道にせり出した木（光風台）



ススキの群落（豊成付近）



この辺りも紅葉し始めた（豊成付近）

パラと降ってきたが、太陽が出ているので心配はない。11時半に小湊鉄道光風台駅に到着。帰りにここからバスに乗る場合のことを考えて発着時刻を調べる。

光風台駅を過ぎると歩道が全くなかった。

道路幅が狭く大型車がすれ違おうとき歩行者は危険である。また、車に減速させてしまうことになり迷惑なので、しばらくは田の畦道を歩くことにした。

畦道を1kmほど歩いたのだろうか？しばらく進

むと、小湊鉄道の踏切を渡り水神橋際信号で国道297号に合流した。今度は歩道があり心配なく歩くことができる。知らぬ間に馬立駅を過ぎ、両側に水田が広がる開けた道路になった。このあたりは佐是

地区となっていた。

依然として向かい風が強く歩きにくい。徐々に足が痛くなってきたが、目的の牛久はそう遠くない。

天気がいいのでマイペースで歩いて気分は爽快だ。面白いことに「馬立」「牛久」と、動物の名の入った地名が続いている。「馬立」については、この地は駅道（うまやじ）が通じ内陸交通の要衝で馬の集結地という説。「牛久」については、古代「宇志久」という地名だったのを、二字への統一が図られ宇志久が牛久に改められたという説。



もともとは「牛」に関係ないのだった。牛久という地名は茨城県、栃木県各に一ヶ所、千葉県に二ヶ所あり「宇志久」の語源は定かでないようだ。

12時45分、上総牛久駅着。この駅には中学生の頃たった一度だけ下車したことがある。

今日の距離は17kmほどだろう。鉄道に沿ったルートだったので、途中何かのアクシデントがあっても心配はない。しかし、このような時はアクシデントなど何もないのである。

時間があれば少しゆっくりしようと思っていたが、すぐにホームに列車が入ってきた。次の便を見ると13:35分発で50分も待たなくてはならない。もう少し駅にいたかったが、待ち時間が長すぎるので今来た列車で戻ろう。光風台からのバスは14:00発なのでこれも接続が悪い。そのまま終点の五井駅まで行きJRで帰ることにした。

足は張っていたが心地よい疲れだった。このように時間がたっぷりあり、自由に歩くことができる幸せを感じた。

■ 1月23日（土）

今日、明日くらいまでは天気はいいが、来週になるとくずれるという予想なので、今日出掛けることにした。今日は牛久から養老溪谷まで歩くつもりだ。距離は結構あるが、途中で歩けなくなったら小湊鉄道に乗れば帰って来れる。

遠距離を歩いてみて、その日の体調で途中で歩けなくなることを常に意識している。どんなに注意しても途中で歩けなくなることがあり得るのだ。それを考えると、マラソンランナーがいかに大変かわかる。オリンピック選考レースなど一発勝負の大会でいかに好記録を出すか。そのことがどんなに大変なことが痛いほどわかる。どんなに練習しても、当日どんなに調子がいいと思っても、走り始めたら途中で足が痛くなり思い通り走れなくなることがある。

バスで光風台駅まで行き、そこから小湊鉄道に乗り替えて上総牛久まで行く。今日は土曜日、光風台から乗る列車は紅葉の季節ということもあって満員だった。

10時40分、上総牛久駅を出発。雲一つない晴天、風は強くなく冷たくない。道路の表示では高滝ダムまで6.5km、養老溪谷まで17.5kmとあった。

県道81号（市原・天津小湊線）を養老溪谷方面に向けて歩き始める。今日は養老溪谷方面への車、バイクやサイクリングの人が圧倒的に多い。車が多いのが少し煩わしいが、天気がいいので楽しい歩き

だ。11時25分千葉読売カントリーゴルフ場を通り過ぎ、11時半加茂地区に入る。

小湊鉄道に沿って路線バスが運行しているが、時刻表を見ると1日に4～5本しか走ってなかった。12時高滝駅に到着。無人駅だが、日によっては駅前で朝市などがあるようだ。駅舎内に地域の小学生の俳句が掲示されていた。

『霜柱 ザックザックとしゃべるんだ』

『息白し フーッと吹くとドラゴンだ』

両足の大腿部が痛むので、足をマッサージしながら10分ほど休憩する。養老溪谷まで12kmという表示があった。初めの表示と距離が少し違っているようだが、距離もだいたいの計算なのだ。

高滝ダムは端っこを見ただけだったが、湖全体の姿はここから1km入らなければ見られないので先を急ぐことにする。

養老、本郷、平野と集落を通り過ぎ、12時40分里見駅に着いた。駅前では、土曜日に開かれているという市が出ていたので、いなり寿司を買って昼食にする。自分で持って来なくても、行く先々で食べ物・飲み物は手に入る。市はとて面白い雰囲気だった。駅からすぐの所に市原市加茂支所があったので、里見は加茂地区の中心なのだろう。線路の脇に数名カメラを持っている人がいるのは、これから来る列車(ディーゼル車)の写真を撮ろうという鉄道ファンだろう。

牛久から歩き始めて、しばらく続いていた歩道はすぐになくなってしまった。集落の付近だけは歩道があるが、それを過ぎると歩く人がいなくなるためか歩道は途切れてしまう。それでも里見駅を過ぎたあたりからまた歩道を歩けるようになった。

13時、大戸橋の上で車とバイクの接触事故を目撃。車か、バイクか?破片が散乱し、バイクの人が路上に仰向けになっている。救急車でなく消防車が出動し救助活動していて、数分の内に救急車のサイレンが聞こえた。バイクの人の安否がとても気になる。直に見ると事故は本当に怖い。



ここまで来れば養老溪谷駅は近い



高滝ダム



大戸橋からの眺め

そこからは少し行くと飯給交差点に着いた。このルートは何度か自転車で通ったことがあるので、道路も景色も見覚えがある。

ここまで、ずいぶん距離を歩いてきたが再び元気が出て来た。足の痛みもあまり気にならず、この調子なら問題なく養老溪谷まで歩けるだろう。

13時30分月崎を通過、すぐに境橋を渡る。川の両側の紅葉が美しい。快調に歩き田淵、国本と通過して来たが、14時ころ久留里・木更津方面への

分岐路にたどり着くと車の渋滞が始まった。まだ養老溪谷の入り口まで3 kmもある地点だ。

この辺りからまた歩道がなくなり、時々大型の観光バスが来ると避けるのに神経を使った。緩やかだが上り坂で、徐行する車とほぼ同じくらいのスピードでひたすら歩く。石神というところを過ぎ狭い道路を速足で歩きぬけ、14時半に養老溪谷駅に着いた。紅葉の見られる場所はここからまだ数 km先なので今日はもう無理だ。近々また来よう。今日紅葉は見られなくとも、18 kmほど歩き通した満足感で充分だ。最後は一気に速足で歩いたので結構疲れた。駅は紅葉を見に来た多くの人でかなりの混雑。

駅で一息つく余裕もなく、15時4分発の列車を待つ人の列に並ぶ。これを逃すと次は16時50分までない。4両連結のディーゼル車は満席で出発、乗れば1時間ほどで五井駅だ。

次は、紅葉が終わらないうちに再び来て、ここから1泊2日で勝浦方面に抜けようと思う。



混雑する養老溪谷駅

■ 11月30日（土）

今週で養老溪谷の紅葉も終わりというニュースを聞き、急遽出掛けることにした。今日は土曜日で小湊鉄道が込んでいるだろうから、本当は昨日の方が良かった。

先週と同じバスで光風台へ。途中バスが泉台団地内を通過したが、ガウディの建築を真似た家を見かけた（ごく一部だけだが）。先週も通ったはずだが気付かなかった。

光風台からは小湊鉄道で養老溪谷まで行く。列車は先週ほど混雑していなくて、次の駅で坐ることができた。時刻表を見ると、小湊鉄道は土曜・日曜のほうが平日より運転本数が多いのだった。

11時30分、養老溪谷駅をスタート。今日もいい天気だ。すぐに市原市から大多喜町に入る。初めはハイキングコースに行くが、それほどいい紅葉の景色は見られなかった。

老川交差点直前のコンビニでサンドイッチを食べ小休止、おにぎりとお茶を買って歩き始める。

県道81号に入り、老川交差点を右折してすぐの橋から見える兩岸の紅葉が美しい。

少し戻り国道465号に入り、上総中野に向けて歩き始める。13時ちょうどだった。

天気は快晴、風は爽やかでとても気持ちがいい。モミジ葉のシルエットを組み合わせた街路灯が、いかにも紅葉が売り物の町らしく可愛い。この国道465号を歩いていると、次々と色付いた木々が現れる。スマホのカメラで撮影するが、光を遮るものがないので画面が光り構図がわかりにくい。



川と紅葉のコントラストが美しい

楽しく歩いているとあっという間に上総中野駅に着いた、13時50分だった。ここまで約8 km、今日は足の調子が良くほとんど疲れを感じない。



いすみ鉄道（上総中野～西畑間）

上総中野駅は小湊鉄道の終点で、ここから第三セクターのいすみ鉄道が大多喜を経由して大原まで通じている。今日はここから2つ目の総元駅まで歩く予定だ。一泊して勝浦まで一気に歩き通すのはやめ、総元からはまた日を改めて歩くことにした。

いすみ鉄道の時刻を調べ、帰りの小湊鉄道への接続を確認する。総元駅16:19分発に乗れば、上総中野16:30分発の列車代行バスに間に合う。乗客が少ないせいだろう、上総中野から五井への直行列車はなく代行バスで一駅養老溪谷まで行かなくてはならない。

14時上総中野駅を出発。14時20分西畑駅、14時30分湯倉橋。道路は平坦で歩道が整備され歩きやすい。交通量も多くない。道路の両側はのどかな田圃が広がっている。

市原市内の県道81号より、大多喜町の国道465号の方が歩道が整備されているように思う。これは国道と県道の差か？15時頃になると陽がだいぶ西に傾いてきた。道路右側に夷隅川の支流西畑川が走り、笛倉橋あたりに来ると鉄橋が見え駅に近づいたことがわかった。



西畑～総元間の紅葉

この辺りまで来ると左足の脛が痛くなってきた。付近の生徒たちの集団サイクリングか、それぞれに激励しあって走っている。しばらく行くと徐々に家が増え、15時15分呆気なく総元駅についた。

今日は14kmほど歩いたと思うが、いつもより疲れは感じなかった。



黒原不動滝

次の列車まで約1時間あるので、案内板にあった「黒原不動滝」に行ってみる。駅から300mのところにある西畑川の滝だ。

行ってみると、いわゆる上から落ちる形ではなく、幅広い段状の滝でなかなか趣がある。総元駅はあまり観光客が訪れるわけではないので、自分だけ何だか得をした気分。最後にいい物を見られて良かった。

駅で待つこと20分、日が落ちて急に気温が下がってきた。暗くなり始めるとイルミネーション

が点り始めたが見る人は誰もいない。列車は暖房が効いていて冷えた体に心地いい。予定通り養老溪谷から乗ると列車は満員で坐れなかった。インド人の夫婦が乳母車で赤ちゃんを連れて列車にいるのは何故だろう。紅葉を見に来たのだろうか？1時間立ち通しだったが、満足感に充たされていた。

■ 12月12日（木）

今日は、前回の総元から勝浦まで歩こうと思う。昨日の天気予報どおり今日は快晴だった。光風台まで妻に車で送ってもらい9：48分発の養老溪谷行きに乗る。



「いすみ鉄道友の会」の花

上総中野駅

紅葉シーズンが終わり乗客はぐっと減っていた。養老溪谷駅で25分待ち、代行バスで上総中野、30分待ちで総元11：56分着。家を出てから2時間半でやっと今日の出発点に到着した。

12時に総元をスタート。今日は気温が低いが快晴で理想的なウォーキング日和だ。

歩き始めてすぐ国道297号に入り、あっという間に勝浦市に入った。勝浦市は海に面している印象だが内陸に深いのだった。さすがに国道だけあって、297号は歩道がしっかり整備されていて歩きやすい。

ただ、この道路は外房方面への幹線道路の一つなので交通量が多い。佐野交差点を過ぎ、杉戸あたりから緩い上り坂となり歩くのが大変だ。

13時ちょうどに杉野坂上バス停を通過、高台からの眺めがとてもいい。杉野はこのあたりでは多少家が密集した集落だ。

13：30分勝浦温泉入り口の看板を見つけた。当初、今回のルートは3回で踏破できると考えていて、最終日この温泉に泊まるつもりでいた。しかし3回では無理ということがわかって、勝浦温泉に泊まる必要がなくなってしまった。

しばらく進み、宿戸というところでセブンイレブンを見つけた。おにぎりとお茶で昼食を兼ねて休息。

10分ほど坐って立ち上がると全身がだるく体の節々が痛い。結構疲れていることを実感した。



松野坂上高台からの眺め



勝浦市遠望（太平洋・ソーラー発電が見える）

今までこんな事はなかったのだが今日は腰が痛い。上り坂が多いせいだろうか？

あと5kmほどというところで足にマメができてしまったが、目的地まで何とか持たせなくてはならない。さらに進んでいくと道路は徐々に下りになり、そのうち家並みが見えてきた。

見通しの良い場所になると真っ青な海が見える。目的地が見えてやっと一安心。

しばらく坂道を下り、袴線橋を渡ると駅はすぐだった。15：10分JR勝浦駅に到着。

足はかなり疲れていたが、せっかくだから港まで行ってみよう。前々回の安房天津に着いた時は、疲れすぎていて港まで行く気力がなかった。

今日は是非港まで行き、広い太平洋を目の当たりにしたい。
港に着くと太陽はかなり西に傾いていた。

近くに和洋混合の目立つ建物が見えたので行ってみると「ホテル三日月」だった。ちょうど観光バスが2台到着したところだ。

今回は15 km、しばらく市内を歩いたのでそれを含めると合計16 kmほど歩いただろう。

これで内房から外房まで、房総半島を3回踏破したことになる。延べ185 km、一日平均15,6 kmというところだ。今は歩き通した満足感でいっぱい。今年はこれで長距離は終わり、来年になったらまた房総半島を歩こう。

(2013.12.12)

